

あなたのごみ拾いが 海を救う研究に！？

スマホアプリとAIで街中のごみ量を可視化

室屋 龍之介¹, 加古 真一郎^{1,2}, 松岡 大祐^{2,1}, 磯辺篤彦³, 池辺靖⁴

(1. 鹿大院理工, 2. JAMSTEC, 3. 九大応力研, 4. 教育科学館)

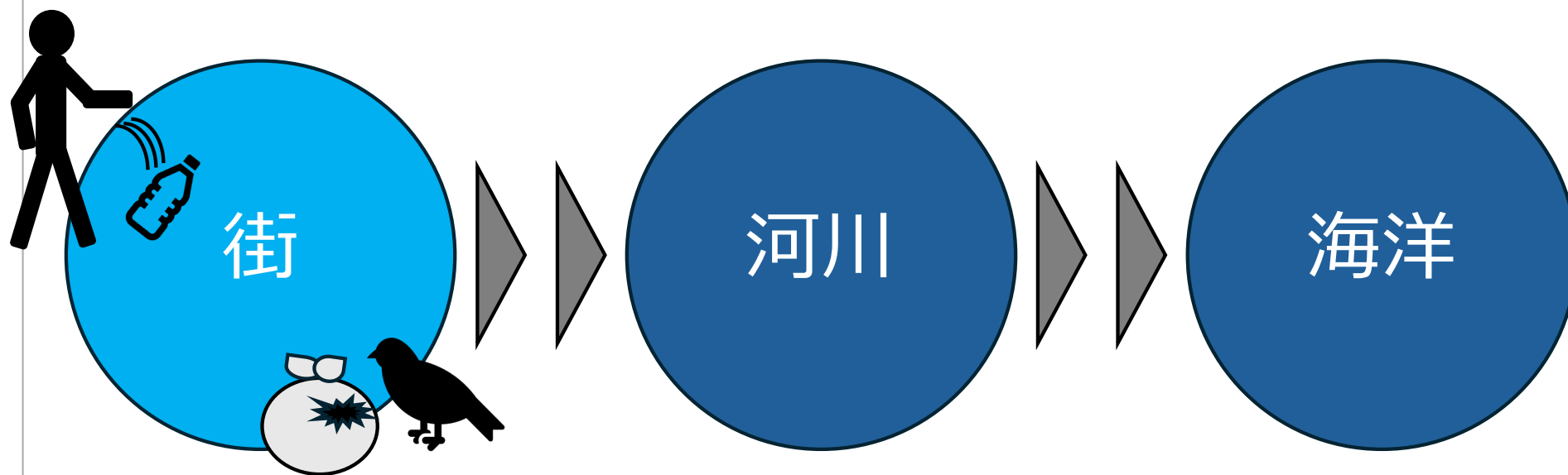
海洋ごみが漂着する日本のある海岸



景観汚染、生物への影響（誤食・絡みつき）、、、

海洋ごみの約7割はプラスチックごみ（Derraik, 2002）。

その海洋プラスチックごみの多くは、
不適切な管理により街から流出した生活ごみ。

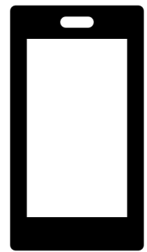


(Lebreton et al., 2017, Morales-Casalles et al., 2021)

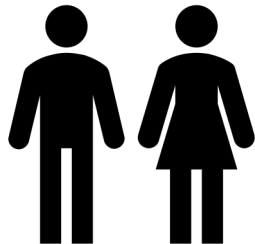
しかし汚染源である街中のどこに、どの程度、
どのようなごみが存在するのか？は分かっていない。

スマホアプリとAIで街のごみ量を可視化するシステムを開発

スマホアプリ
+ 市民科学



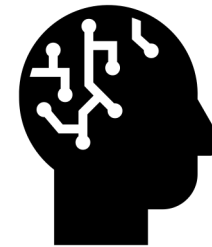
+



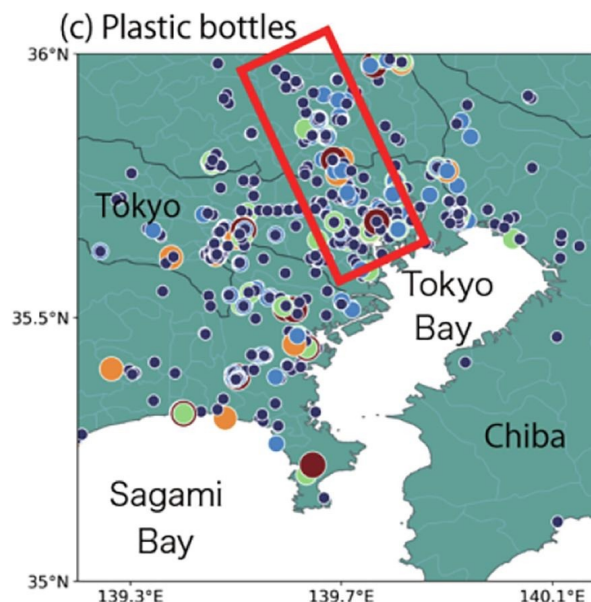
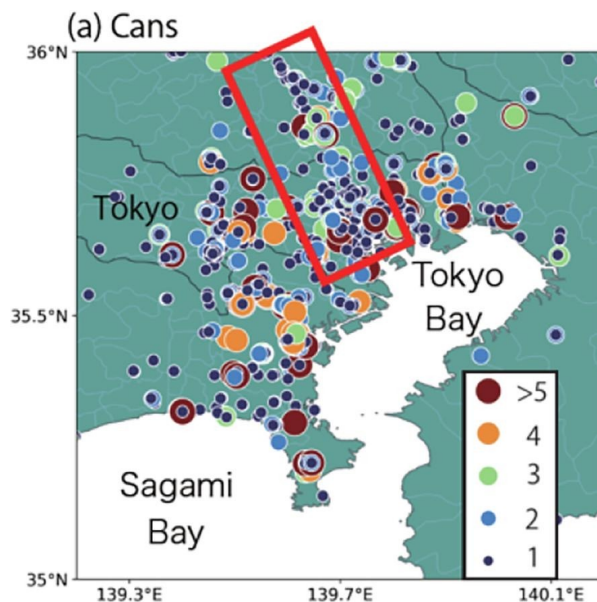
ごみ画像の収集



画像解析AI



ごみ画像の解析



街におけるごみの分布図



市民展示では、

- ・ 街のごみ量を可視化するシステムの全体像
- ・ 科学館と共同で開催したごみ拾いイベント

等々

について、より詳しく説明します！

ぜひ展示スペース⑩へお越しください

テクノロジーと市民科学が変える 海洋プラスチックごみ対策

スマホアプリと AI を活用した参加型ごみ拾いの可能性

2024.10.4 (金)

13:30-15:00

オンライン開催



アジア経済研究所
小島道一 席主任調査研究員



鹿児島大学 加古真一郎教授



JAMSTEC 松岡大祐主任研究員



九州大学 磯辺篤彦教授



ごみ拾い SNS ピリカ
ユーザー代表 中西正治様

主催：一般社団法人ピリカ 共催：国立研究開発法人海洋研究開発機構 (JAMSTEC)

後援：独立行政法人日本貿易振興機構 (JETRO) アジア経済研究所